

日本一事故の少ないまちへ

安城自動車学校（本社安城市北山崎町、石原慧子社長、電話0566・76・8181）の交通安全に対する取り組みが注目を集めている。石原社長は「安城市を日本一事故の少ない町にする」を会社の使命に掲げ、地域で交通安全教室を展開し、その受講者は年間1万人を超える。そうした活動が評価され、ことし3月には経済産業省の「おもてなし経営企業選」を受賞した。

（安城・片桐芳樹）

安城自動車学校 注目集める交通安全教室

同社は1969年の設立。安城市内唯一の自動車学校で、社員数は70人。普通自動車、二輪、大型車の教習を展開する。

交通安全への取り組みは、石原社長の「教習所の枠にとらわれず、地域から信頼され、「安全のことなら安城自動車学校に聞こう」と言われる企業をめざす」



「おもてなし経営企業選」のトロフィーを持つ石原社長

受講年1万人、経産省から受賞も

「おもてなし経営企業選」は、①社員の意欲・能力向上②地域・社会との関わり③顧客との関係強化への取り組みを評価し選定する。2013年度は全国28社が受賞した。

自動車学校の受賞は同社のみ。地域での交通安全活動に加え、顧客訪問によるニーズの把握と社員のモチベーション向上への取り組みが評価された。

顧客訪問は、「ライセンスアドバイザー」と呼んでいる教官が見込み客の自宅を訪



教習では顧客との信頼関係を重視する

れ、本人と家族から免許取得の目的や学校への要望を聞き、卒業までサポートしていく。

社員のモチベーション向上は、石原社長が社員とのコミュニケーションを密にとり、風通しの良い職場づくりをめざしている。「社長室はない。人を認めることを重視している」という。こうした社風が顧客に伝わり、自動車学校の卒業生で

また「ありがたいの発信」をキーワードに、新入社員にも親への感謝の手紙を書いてもらう取り組みを行っており、好評を得ている。石原社長は「働く人を幸せにする経営で、顧客満足につなげたい」と話している。